

2023年度 随時応募枠共同利用研究報告書

2023年09月20日

所属・職名 大阪大学・MMDS・准教授

中澤嵩

		整理番号	2023c002	
1.研究計画題目	西日本アライアンス 大学間共同PBL(Project Based Learning: 課題解決型学習)			
2.新規・継続	継続			
3.種別	随時募集枠			
4.種目	研究集会 (Ⅱ)			
5.開催方法	オンライン開催			
6.研究代表者	氏名	中澤嵩		
	所属 部局名	大阪大学・MMDS	職名	准教授
7.研究実施期間	2023年09月20日(水曜日)~2023年09月20日(水曜日)			
8.キーワード	認知科学			
9.参加者人数	34人			

10.本研究で得られた成果の概要

基調講演に関しては、PBL終了後に行った学生アンケートでは、極めて評価が高かった。その理由として、参加学生は実際に認知科学で行われている解析事例に触れるとともに、グループワークでスムーズに作業を進めることに繋がったようである。また、PBL全体では、学部生から大学院生まで幅広い学年が、全学共通教育だけでなく理学・工学・農学・土木等の専門部局の学生が合同でPBLに参加することで、多くの異なった視点やアプローチ方法に触れることができたとのことであった。当該PBLを通じて、より一層、勉学に対するモチベーションが向上したと思われる。

目的とされる成果

【はじめに】本研究集会では、数理・データサイエンス・AI 教育強化コンソーシアム（以下、コンソーシアム）が策定した教育プログラム（リテラシー・応用基礎レベル）に準拠しつつ、産業界からデータ提供を受けて実施する PBL に参加する学部生・大学院生を主な対象とする。この PBL は、昨年度に引き続き電通株式会社・日立システムズからデータ・課題を提供して頂き、大阪大学・島根大学・和歌大学・広島工業大学・高知大学が各大学の講義科目やイベントとして開講・開催するものである。また、今年度はコンソーシアムの特定分野校から茨城大学・香川大学・静岡大学が参加することになっている。

【目的】聴講者が、様々な科学分野（理学，工学，情報，農学，土木等）におけるデータ科学を志す学部生・大学院生であり、かつ短期間の集中講義中に本研究集会を開催するため、講演者はデータ科学に関する学術的な内容を講演する訳ではなく、参加学生が今後の勉学を一層、積極的に取り組めるように講演を行うことを最大の目的とする。

【期待される成果】講演者の朝倉暢彦氏（大阪大学）は、認知科学を専門とし、データベース構築・ビッグデータ解析・可視化といったデータ科学教育で扱う一連の内容を含んでいる。それにより、学生にとって大きな動機付けとなるとともに、PBL におけるグループワークの効率化が期待された。

関連する研究の経緯

研究ではなく、PBL の運営という点に着目して記載しております。これまで、複数の大学が共同で PBL を実施するというのは、各大学の教務、学年歴、異なる所属部局等を考慮して運営する必要があり、多くの困難な状況に直面するため、開催事例は多くない。しかし、他大学の学生同士が交流することは極めて重要な教育サービスでもあるため、このような PBL 運営ノウハウを蓄積することは、データサイエンス教育においてカリキュラムや教材を整備することと同じくらい重要である。当該 PBL は昨年度も実施しており、教員・学生合わせて 130 名程度が参加したが、今後も一層拡大させるためには、多くの学生からの指示を得る必要があり、今回の研究集会の開催準備に至った。

具体的な計画

実施形態：オンライン

参加大学：大阪大学，愛媛大学，高知大学，和歌山大学，島根大学，広島工業大学，茨城大学

オブザーバー参加：九州大学（溝口先生）、香川大学、静岡大学

課題提示：

- ・ A 「ジェスチャーアプリを作ってみよう！」
- ・ B 「実践！データサイエンティスト」
- ・ C 「視聴率を予測しよう！」
- ・ D 「Competition に挑戦！」

開催日程：

【PBL スケジュール：9 月上旬～22 日】

9 月 20 日

3 限：基調講演 30 分

4 限：office hour

9 月 22 日 2～4 限：最終発表

研究分野のキーワード

認知科学

本研究で得られた成果の概要

基調講演に関しては、PBL 終了後に行った学生アンケートでは、極めて評価が高かった。その理由として、参加学生は実際に認知科学で行われている解析事例に触れるとともに、グループワークでスムーズに作業を進めることに繋がったようである。また、PBL 全体では、学部生から大学院生まで幅広い学年が、全学共通教育だけでなく理学・工学・農学・土木等の専門部局の学生が合同で PBL に参加することで、多くの異なった視点やアプローチ方法に触れることができたとのことであった。当該 PBL を通じて、より一層、勉学に対するモチベーションが向上したと思われる。

また、大阪大学、愛媛大学・高知大学・和歌山大学・島根大学・広島工業大学・茨城大学の教員が自身の PC で参加登録して、教室のプロジェクターで受講生に視聴させていたため各大学の学生数は、参加登録者数には含まれていない。実施には、約 100 名程度増加すると思われる。

開催日:2023/09/20~2023/09/20

西日本アライアンス大学間共同PBL(Project Based Learning: 課題解決型学習) | 共 2023c002

カテゴリ: イベント

タグ:

随時募集

研究集会II

開催概要

- 開催方法: Zoomウェビナーによるオンライン開催
- 主要言語: 日本語
- 主催: 九州大学マス・フォア・インダストリ研究所
- 種別・種目: 随時募集枠-研究集会 (II)
- 研究計画題目: 西日本アライアンス大学間共同PBL(Project Based Learning: 課題解決型学習)
- 研究代表者: 中澤嵩 (大阪大学・MMDS・准教授)
- 研究実施期間: 2023年9月20日 (水)
- 公開期間: 2023年9月20日 (水)
- 研究計画詳細: https://joint1.imi.kyushu-u.ac.jp/research_chooses/view/2023c002

プログラム

9月20日 (水)

10:50-11:20

朝倉 暢彦 (大阪大学)

「認知科学におけるベイジアンモデリング」